

平成26年5月

平成26年	1月	～	3月期	実績
平成26年	4月	～	6月期	見通し

中小企業景況調査報告書

岩手県商工会連合会

主要景況項目の動き	2
業況天気図	3
全産業の推移	4
製造業の推移	7
建設業の推移	11
小売業の推移	15
サービス業の推移	19
全産業の過去データの推移 * 平成15年1月以降	23
[集計資料]	

D・Iとは

D・Iとは、ディフュージョン・インデックスの略です。これは、企業経営者の景気動向を表す指標として利用されています。

算出方法は、増加（上昇・好転）企業割合から減少（低下・悪化）企業割合を差し引いたものです。

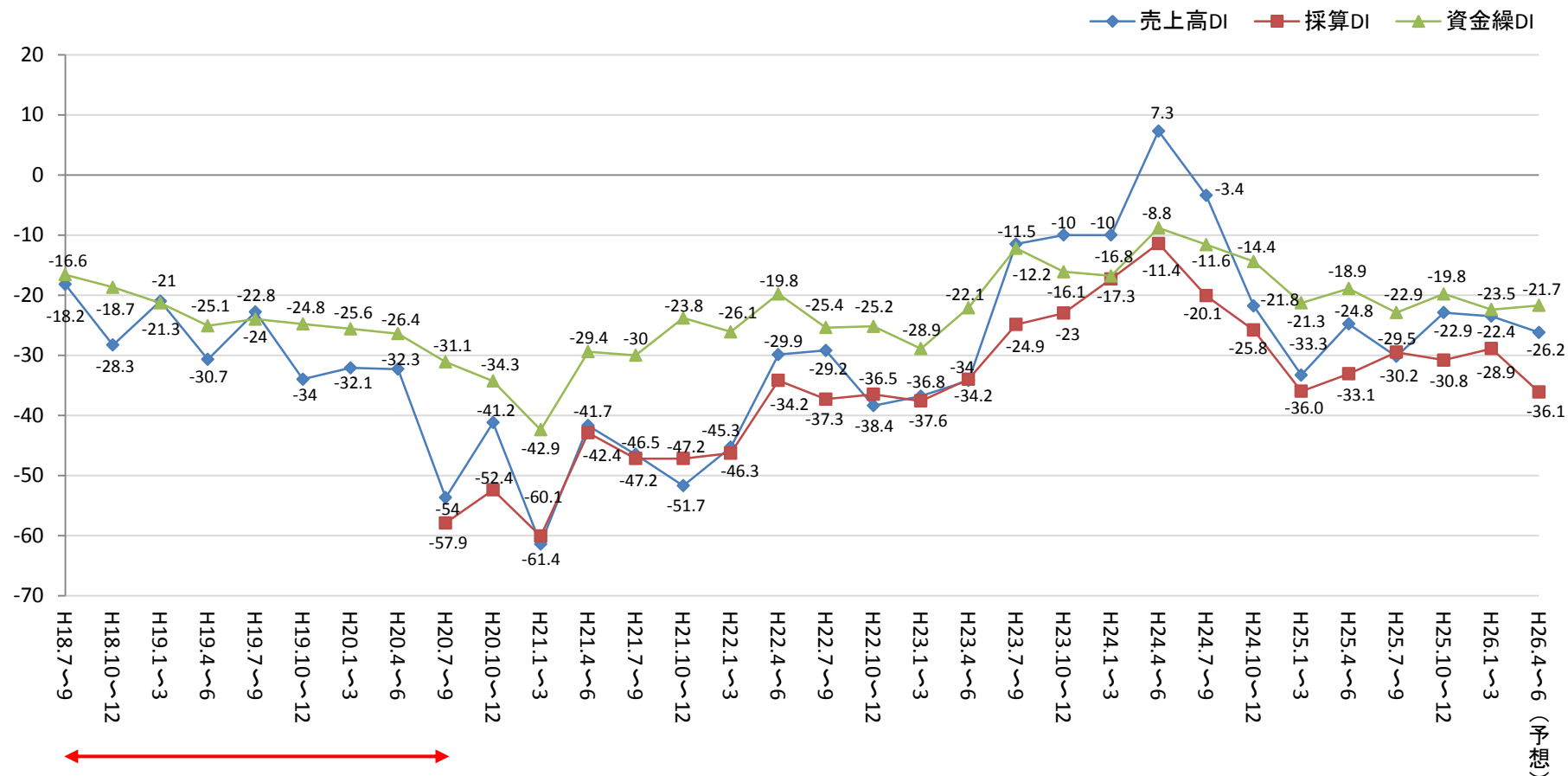
D・Iがプラスなら強気（楽観）、マイナスなら弱気（悲観）、原材料または商品の仕入単価の場合はプラスなら上昇気運、マイナスなら低下気運となります。

プラス、マイナス同数の場合はD・Iはゼロになります。

たとえば、売上高増加企業50%、不変企業30%、減少企業20%の場合、D・Iは $50 - 20 = 30$ となり、全体として経営者の売上高に対する強気の度合いを表しています。





































[岩手県 産業全体]






主要景況項目の動き ー前年同期比ー



採算DIについては全国連にデータなし

業 況 天 気 図

業 種 \ 期 間	平成24年			平成25年			平成26年		
	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	(見通し) 4~6月
製 造 業	 曇	 曇	 雨	 雨	 雨	 曇	 薄曇	 曇	 曇
建 設 業	 晴	 薄曇	 晴	 薄曇	 薄曇	 晴	 晴	 快晴	 薄曇
小 売 業	 薄曇	 雨	 雨	 雨	 雨	 雨	 雨	 曇	 雨
サ ー ビ ス 業	 晴	 曇	 曇	 曇	 曇	 曇	 雨	 雨	 雨

売上高DI	100.0 ~30.1	30.0 ~10.1	10.0 ~△10.0	△10.1 ~△30.0	△30.1 ~△100.0
表 示	 快晴	 晴	 薄曇	 曇	 雨

全産業の推移

売上高

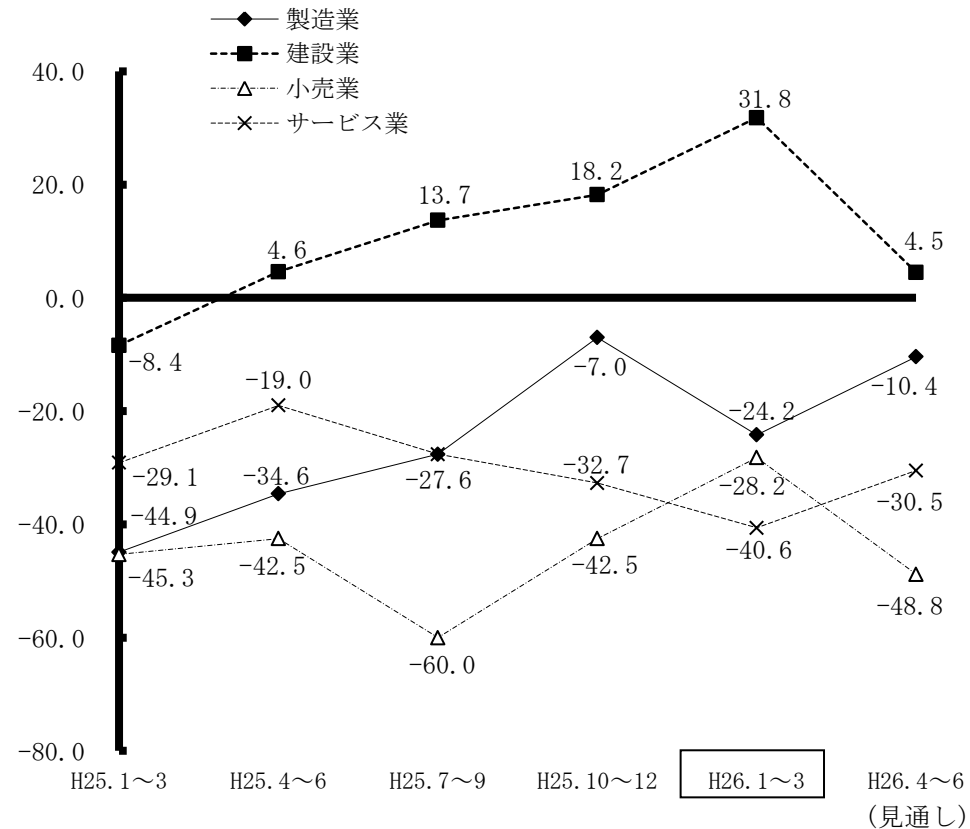
小売業では回復が続き、建設業は依然好調

今期は、小売業において、14.3ポイント上昇の△28.2と2期連続の回復となった他、建設業においては、13.6ポイント上昇の31.8と好調を維持しました。

一方、サービス業においては、悪化に歯止めがかからず、7.9ポイント減少の△40.6となり、製造業においても、回復傾向から一転して、17.2ポイント減少の△24.2に悪化しました。

来期は、建設業において27.3ポイント、また小売業においても20.6ポイント減少し、大幅に悪化すると予想しています。

一方、製造業においては13.8ポイント、サービス業においても10.1ポイントの回復を見込んでいます。



※建設業の売上高は完成工事高

全産業の推移

採算

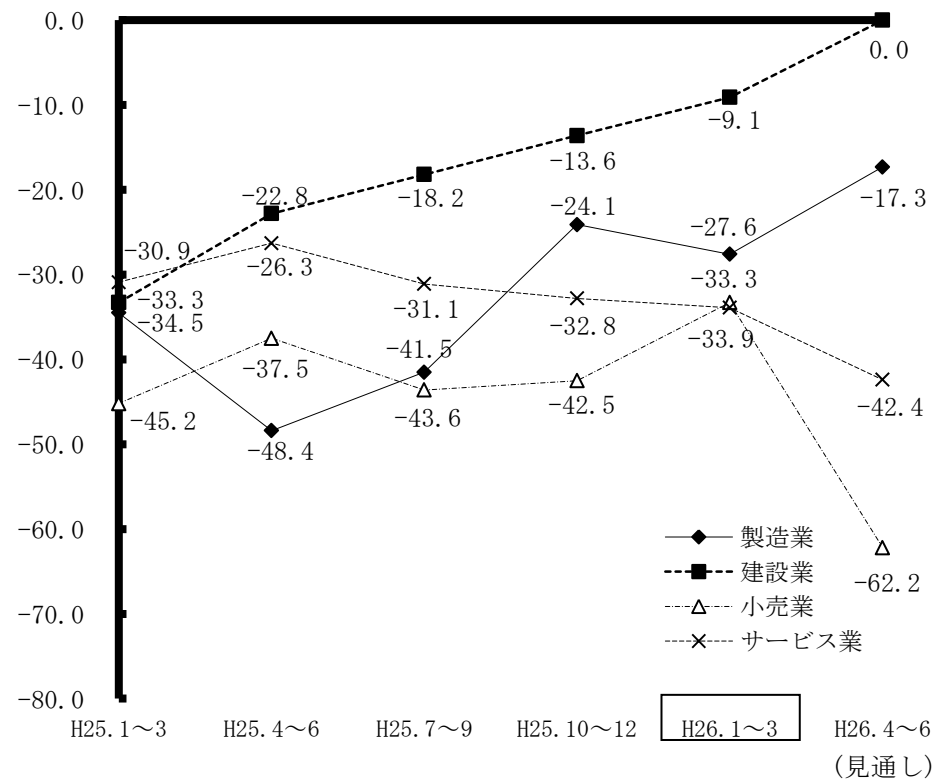
今期の小売業では、利益率が大幅に改善

今期は、小売業で、8.6ポイント改善し△33.9となったほか、建設業でも、4.5ポイント上昇の△9.1と4期連続で改善しました。

一方、サービス業においては、1.1ポイント減少の△33.9、小売業においても3.5ポイント減少の△33.3と前期よりもやや悪化しました。

来期は、建設業においては、引き続き、回復基調を見込んでおりますが、小売業では、28.9ポイント減少の△62.2と大幅に悪化する見通しです。

※採算は各業種とも経常利益



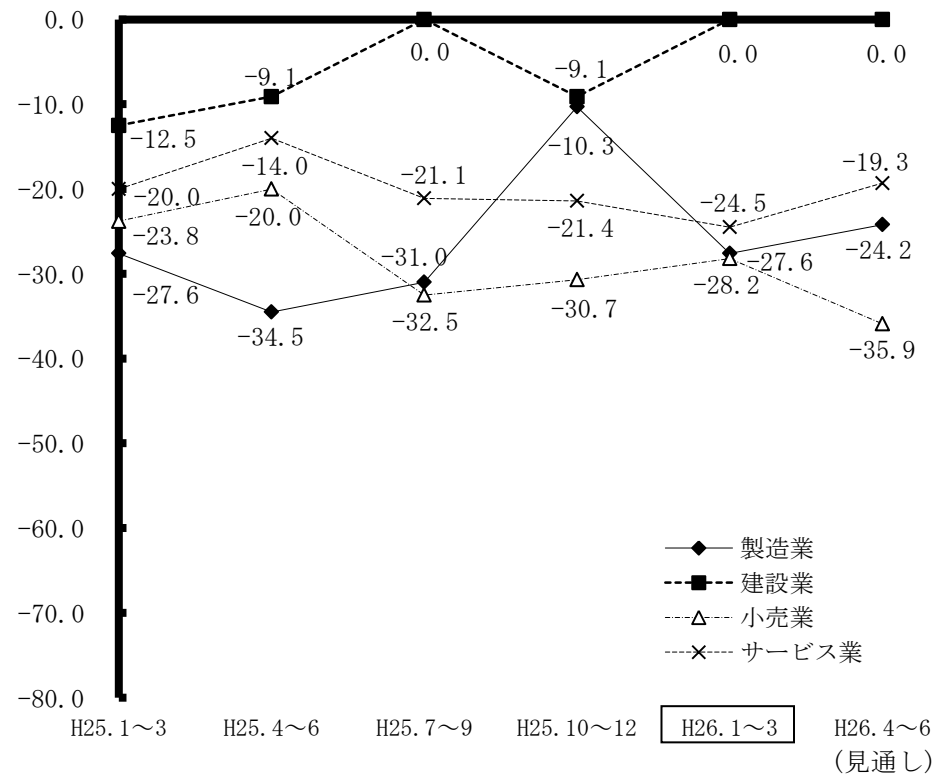
全産業の推移

資金繰り

建設業の資金繰りは改善、建設業は減少

今期は、建設業において、9.1ポイント上昇し、0.0と2期ぶりにマイナスから脱したほか、資金繰り悪化が懸念されていた小売業において、若干の回復が見られました。しかし、製造業においては、17.3ポイントの減少と大幅に悪化しました。

来期は、サービス業において、5.2ポイント上昇し△19.3まで回復することが見込まれますが、小売業においては、消費税増税を踏まえ、7.7ポイントマイナスの△35.9まで悪化する見通しとなっています。



売上高

<今 期>

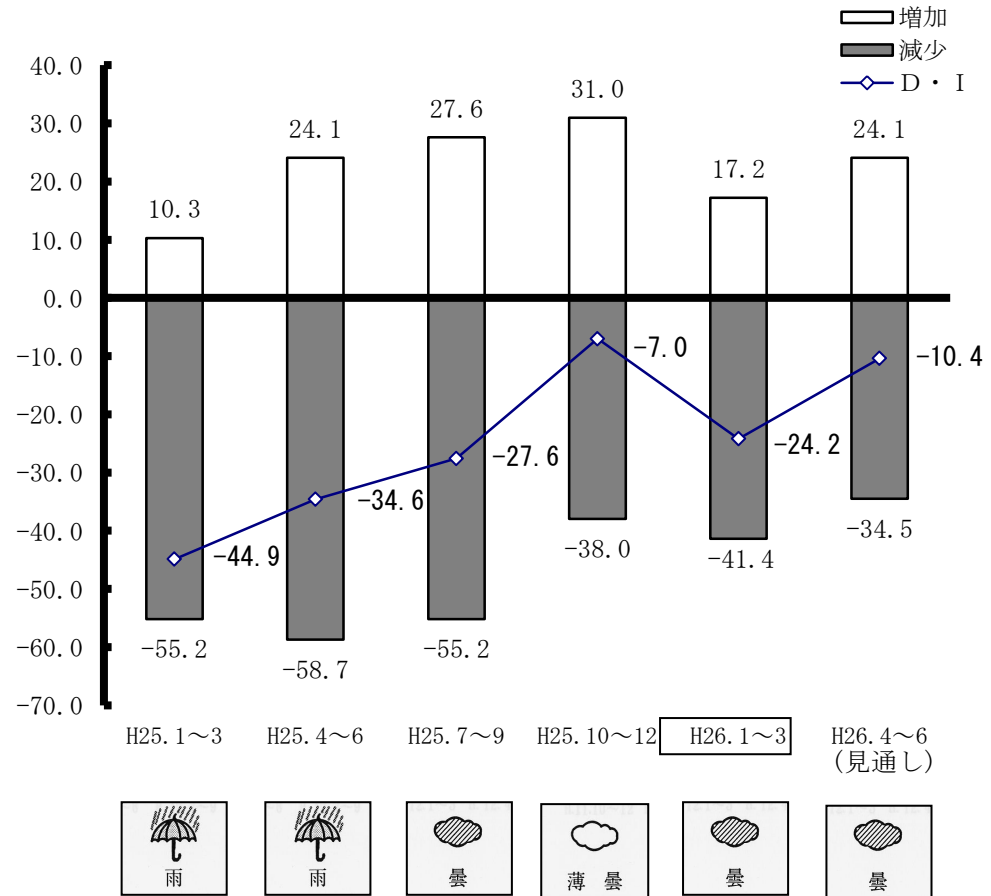


<来期見通し>



今期は、売上の増加した企業が減少し、売上の減少した企業も増加したことから、売上高D・Iは17.2ポイント低下の△24.2と、大幅に悪化しました。

来期は、売上高の増加を予想する企業が増加するほか、売上の減少を予想する企業が減少したことから、売上高D・Iは13.8ポイント上昇の△10.4まで回復する見通しです。



採算

<今 期>

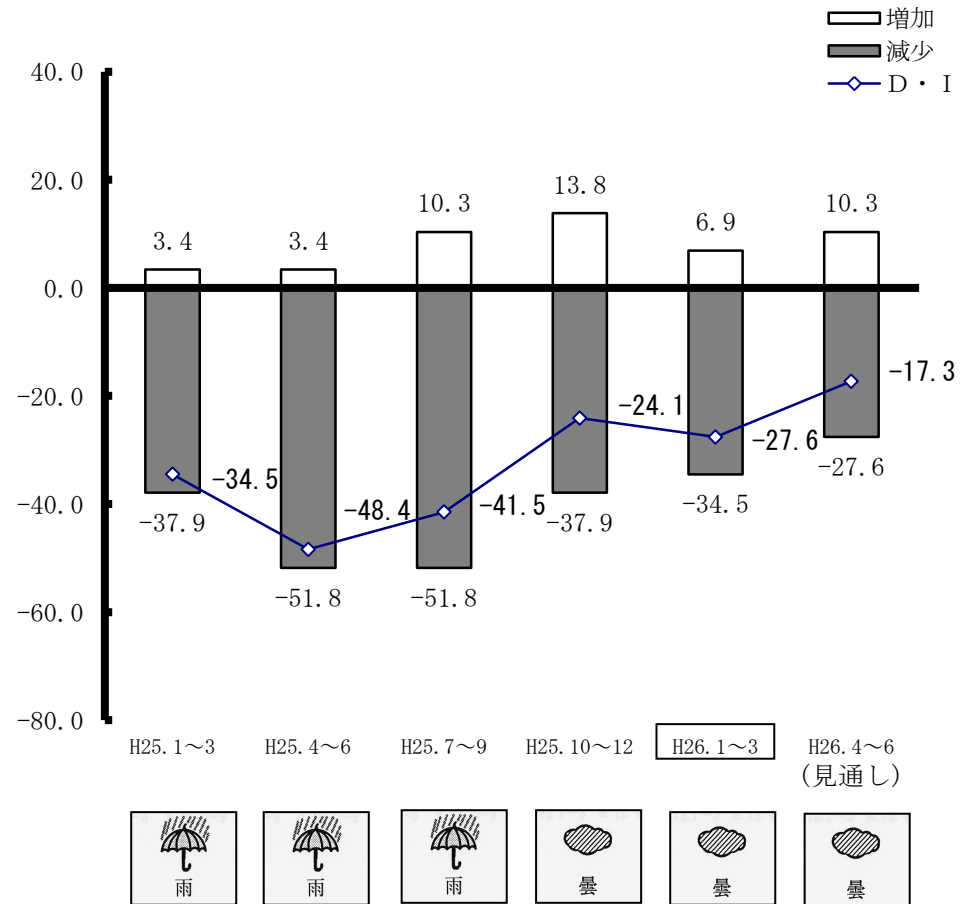


<来期見通し>



今期は、採算が改善した企業の割合が減少したことから、採算D・Iは3.6ポイント減少の△27.6と僅かですが悪化しました。

来期の採算D・Iは、採算の悪化を予想する企業が減少し、採算が改善すると挙げた企業も増加したことから、10.3ポイント増加の△17.3と大幅に回復する見通しです。



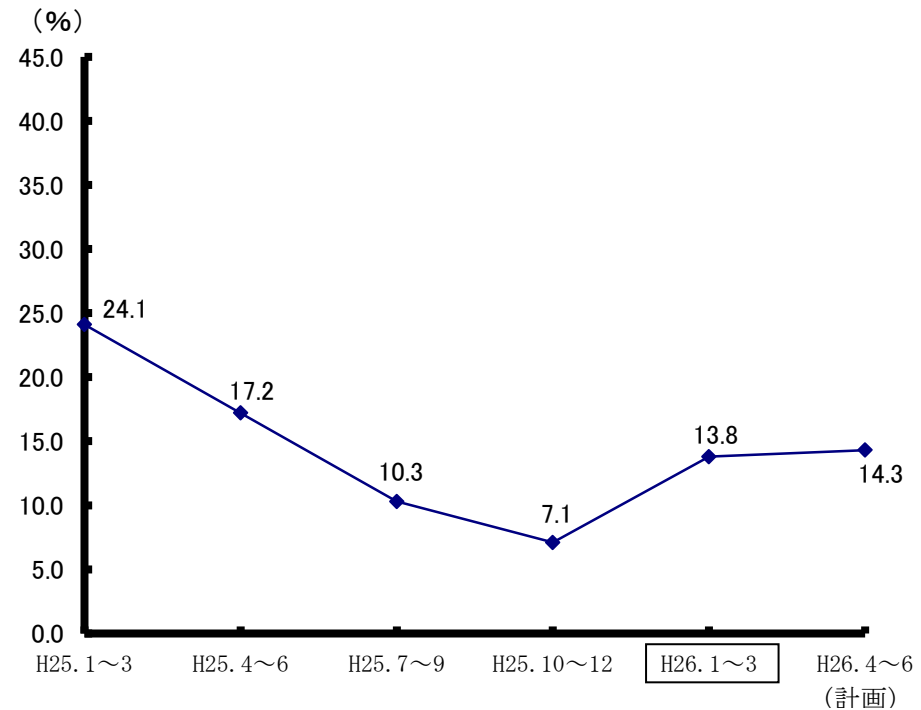
設備投資

今期は、設備投資を行う企業は6.7ポイント増加の13.8となり、低下傾向に歯止めがかかりました。

これは、消費税増税前の積極的な設備投資が原因と考えられます。

来期は、業績の改善から設備投資を計画している企業の割合が若干増加するものと予想されます。

(注) この指標は、規模の大小にかかわらず、設備投資を実施した企業数の割合を示します。



経営上の問題点

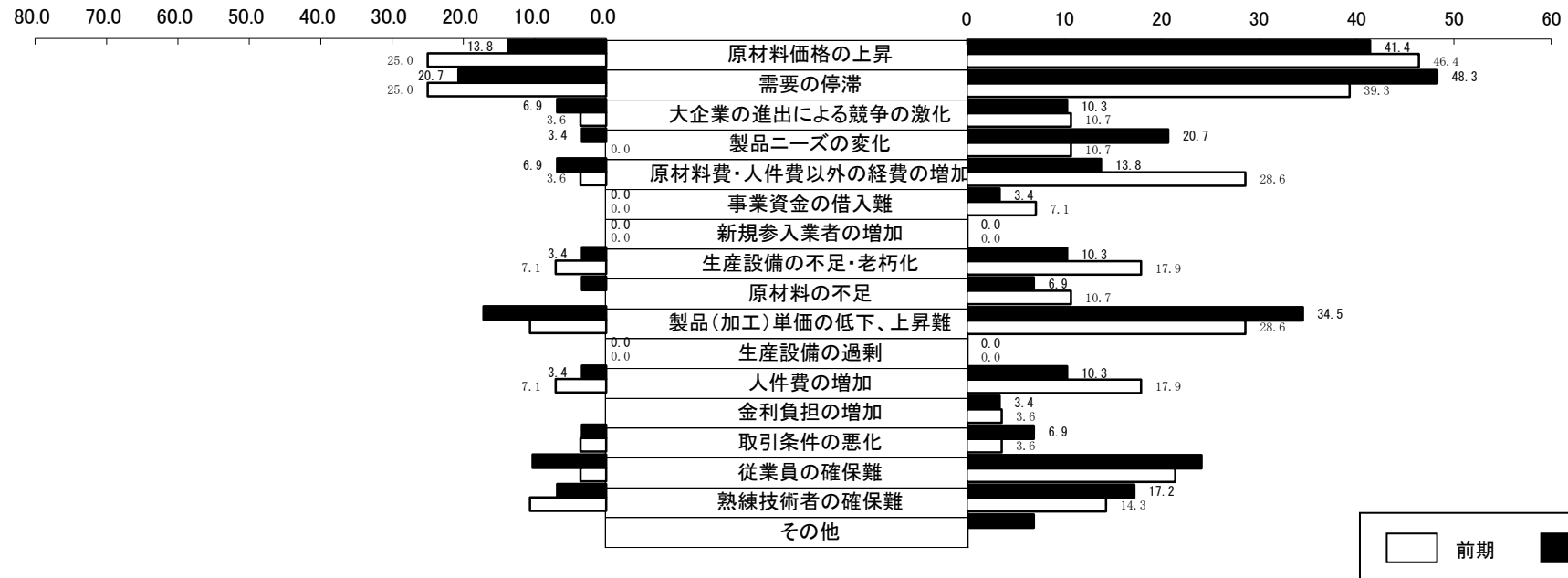
岩手県 製造業

経営上の問題点の状況(1位と1位~3位)

1位の問題点

1位~3位の問題点

(目盛:%)



建設業の推移

売上高

<今 期>

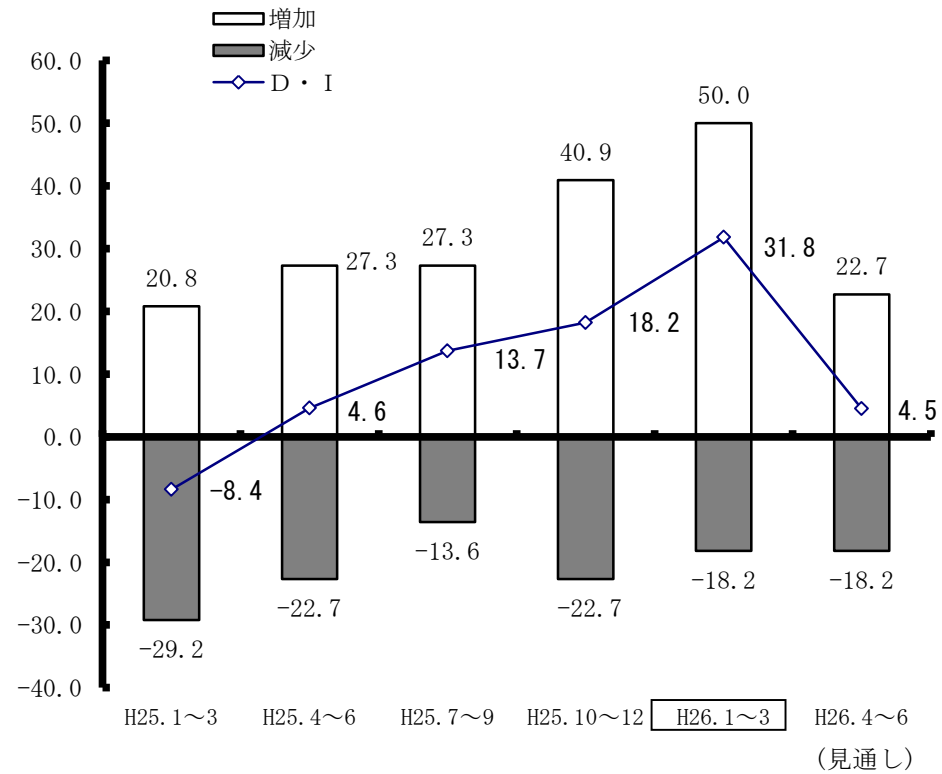


<来期見通し>



今期は、売上高の減少を挙げた企業の割合が減少し、売上の増加を挙げた企業の割合が大幅に増えたことから、売上高D・Iは13.6ポイントプラスの31.8まで上昇し、天気図は快晴となりました。

来期は、売上高の増加を予想する企業の割合が急激に減少することから、売上高D・Iは、4.5まで減少し、予想天気図は薄曇となる見通しです。



※建設業の売上高は完成工事高

建設業の推移

採算

<今 期>



薄曇

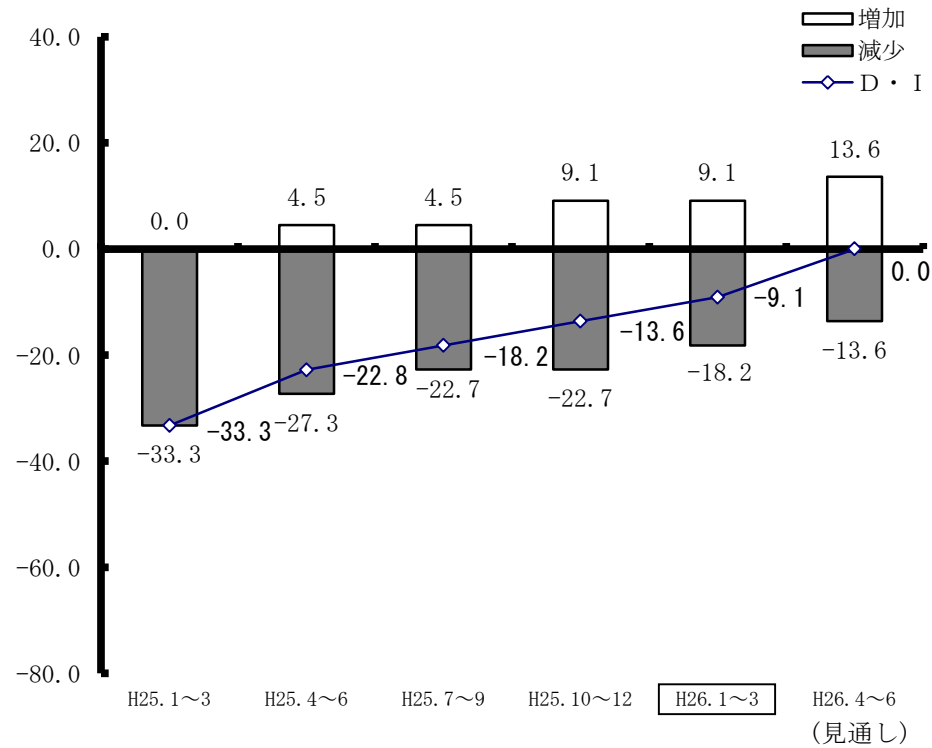
<来期見通し>



薄曇

今期の採算D・Iは、採算好転を挙げた企業は変わらないものの、採算が悪化した企業が減少したため、4.5ポイント上昇の△9.1と回復し、天気図は薄曇となりました。

来期は、採算の好転を予想する企業が増加したことから、採算D・Iは、0.0まで回復する見通しです。



雨



曇



曇



曇



薄曇



薄曇

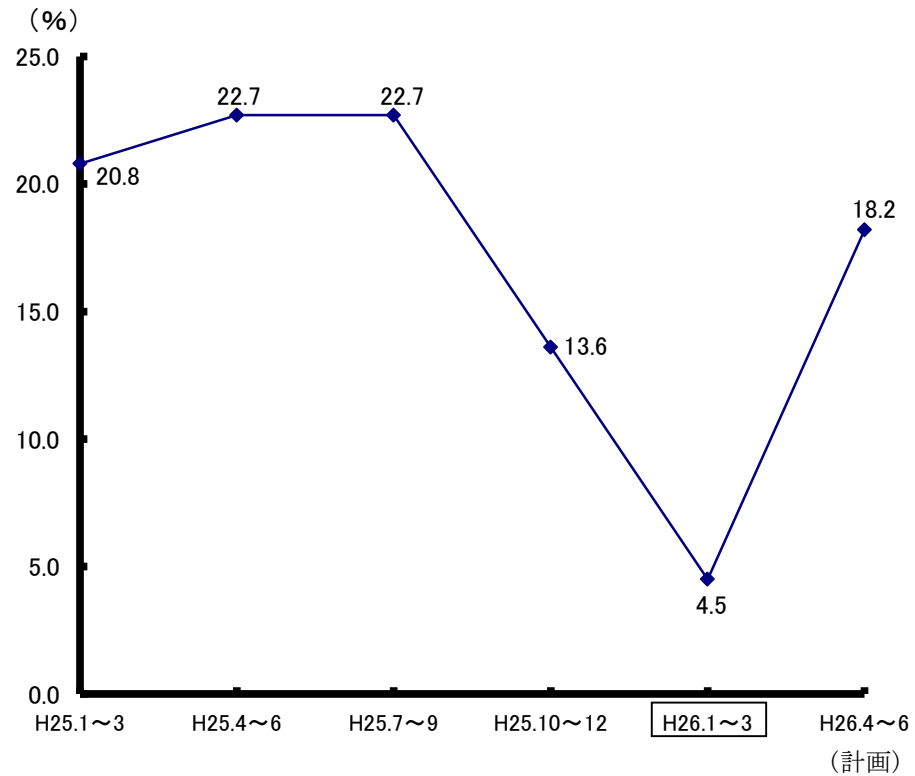
建設業の推移

設備投資

前期見通しのおおりに、設備投資を実施する企業は4.5まで大幅に減少しました。これは、原材料の上昇に伴う機械等の高騰に起因するものと思われます。

来期は、一転して設備投資を予定する企業が大幅に増加し、18.2まで回復する見通しです。

(注) この指標は、規模の大小にかかわらず、設備投資を実施した企業数の割合を示します。

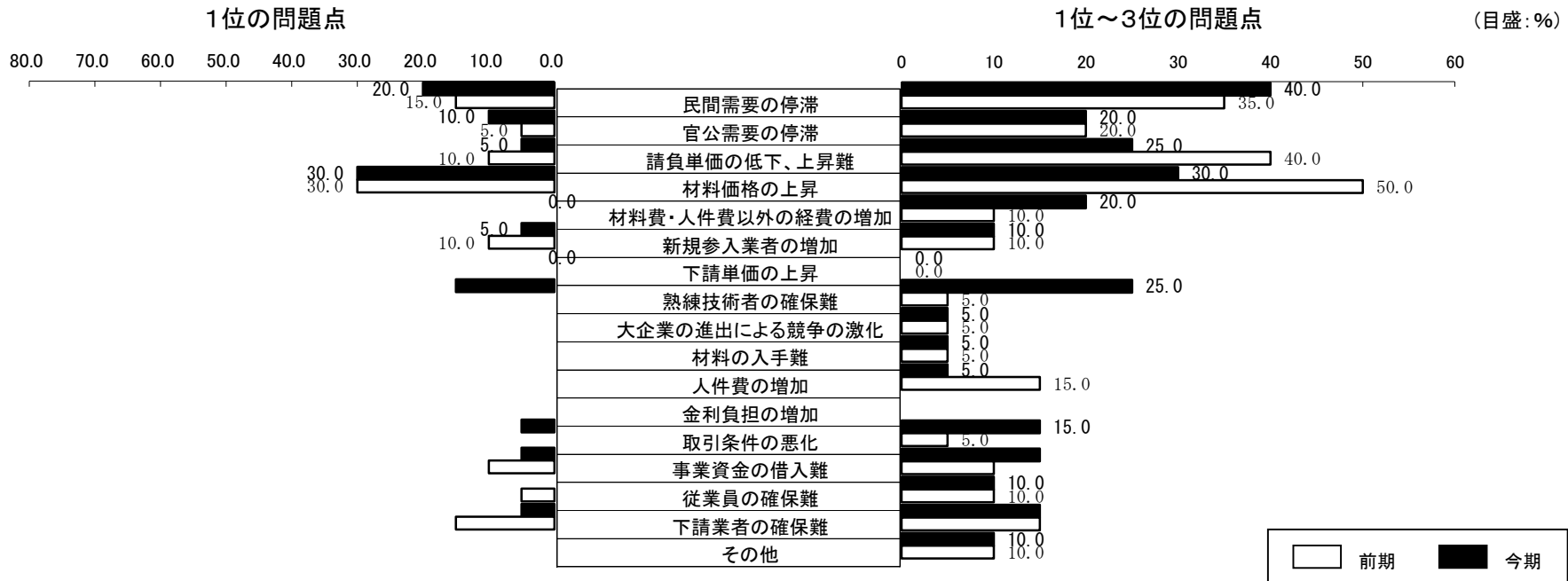


建設業の推移

経営上の問題点

岩手県 建設業

経営上の問題点の状況(1位と1位~3位)



小売業の推移

売上高

<今 期>

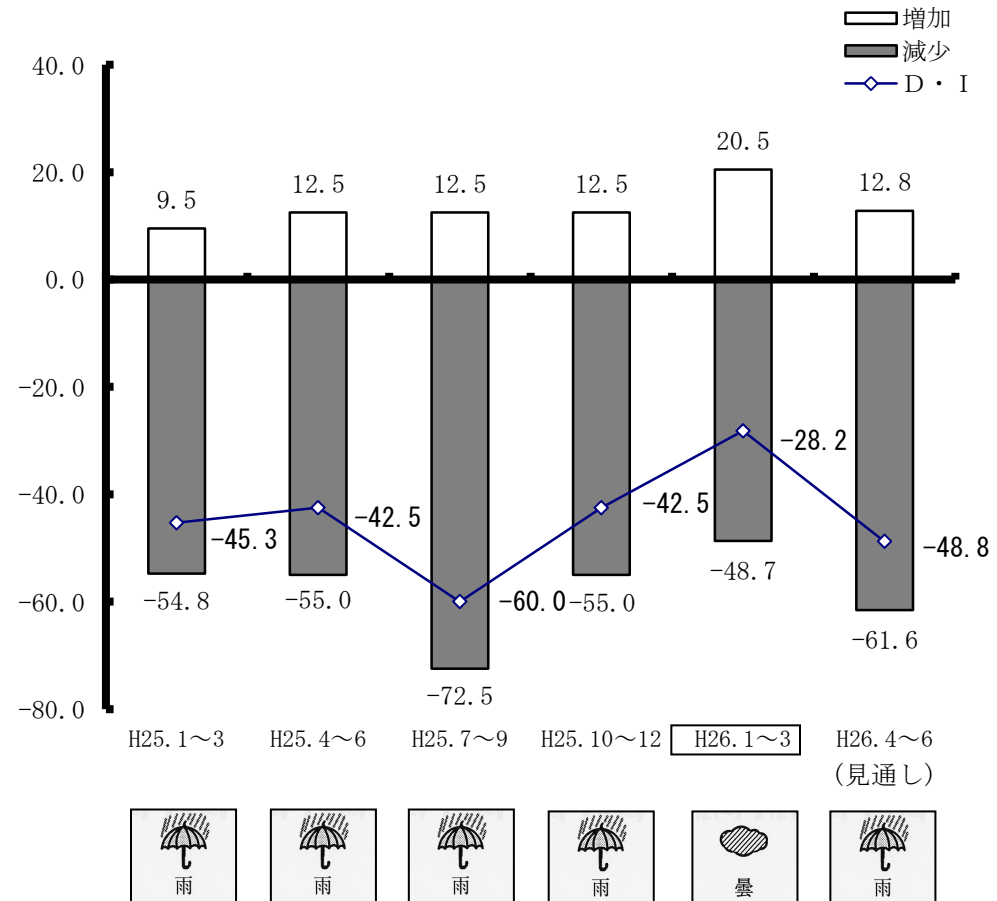


<来期見通し>



売上高増加企業が増加し、売上高減少企業も減少したことから、売上高D・Iは14.3ポイント回復し、△28.2となり、天気図は曇となりました。

来期は、売上高増加を予想する企業が減少するほか、売上高減少を予想する企業も大幅に増えるため、売上高D・Iは、20.6ポイント減少の△48.8と急激に悪化する見通しです。



小売業の推移

採算

<今 期>

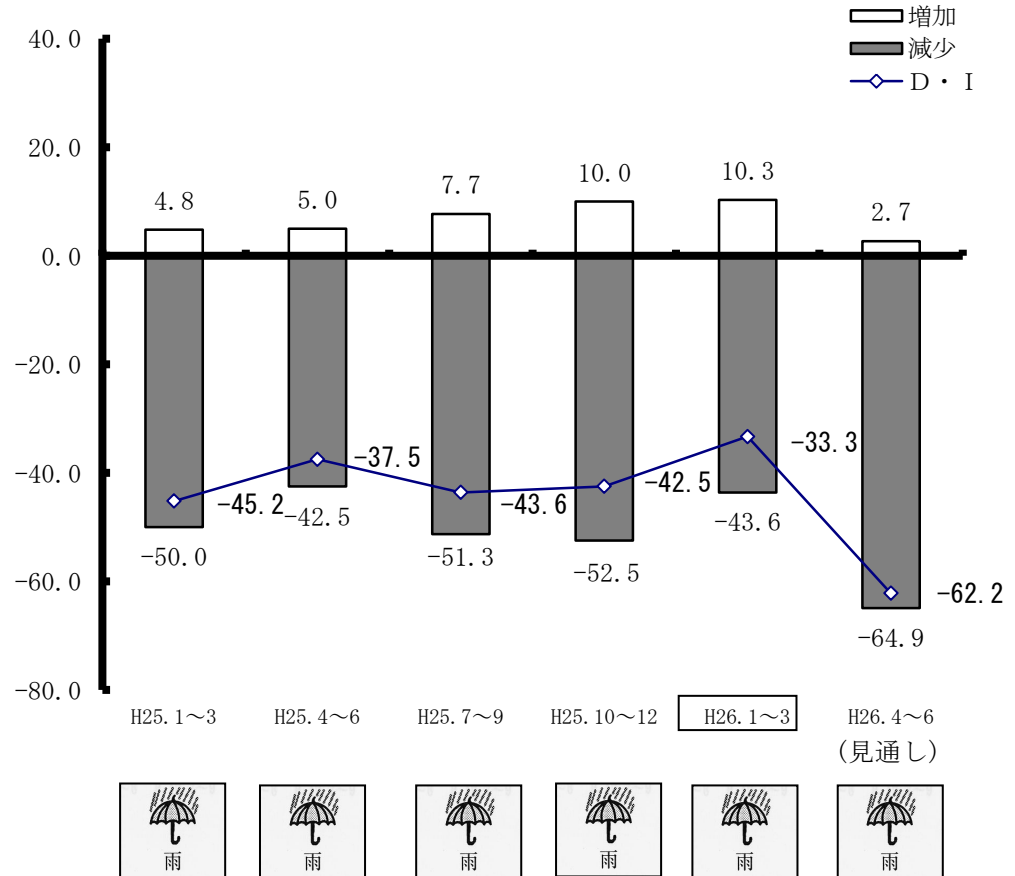


<来期見通し>



今期は、採算が悪化した企業が減少したため、採算D・Iは9.2ポイント増加の△33.3と微増の結果となりました。これは、売上の回復があまり採算の改善に繋がらなかったことを示しています。

来期は、採算の悪化を予想する企業の割合が大幅に増加する見通しとなっています。

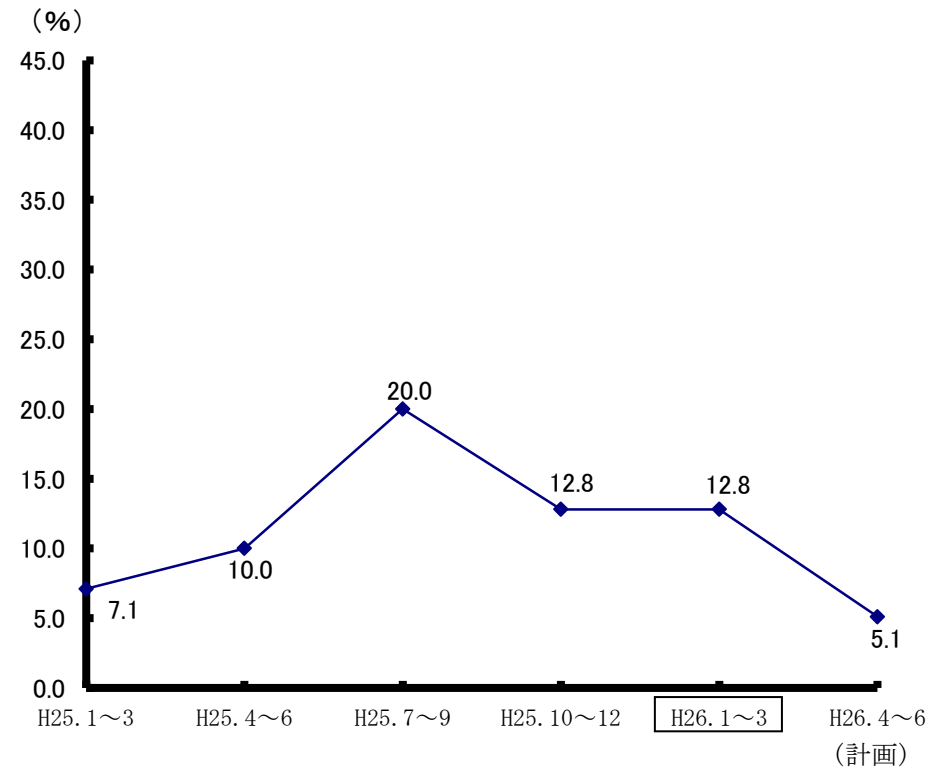


設備投資

今期に、設備投資を実施した企業は、12.8と前期と同水準となり、小売業としては比較的高水準で推移しました。

来期は、消費税増税の影響等により今期よりも低調な設備投資を見込んでいます。

(注) この指標は、規模の大小にかかわらず、設備投資を実施した企業数の割合を示します。

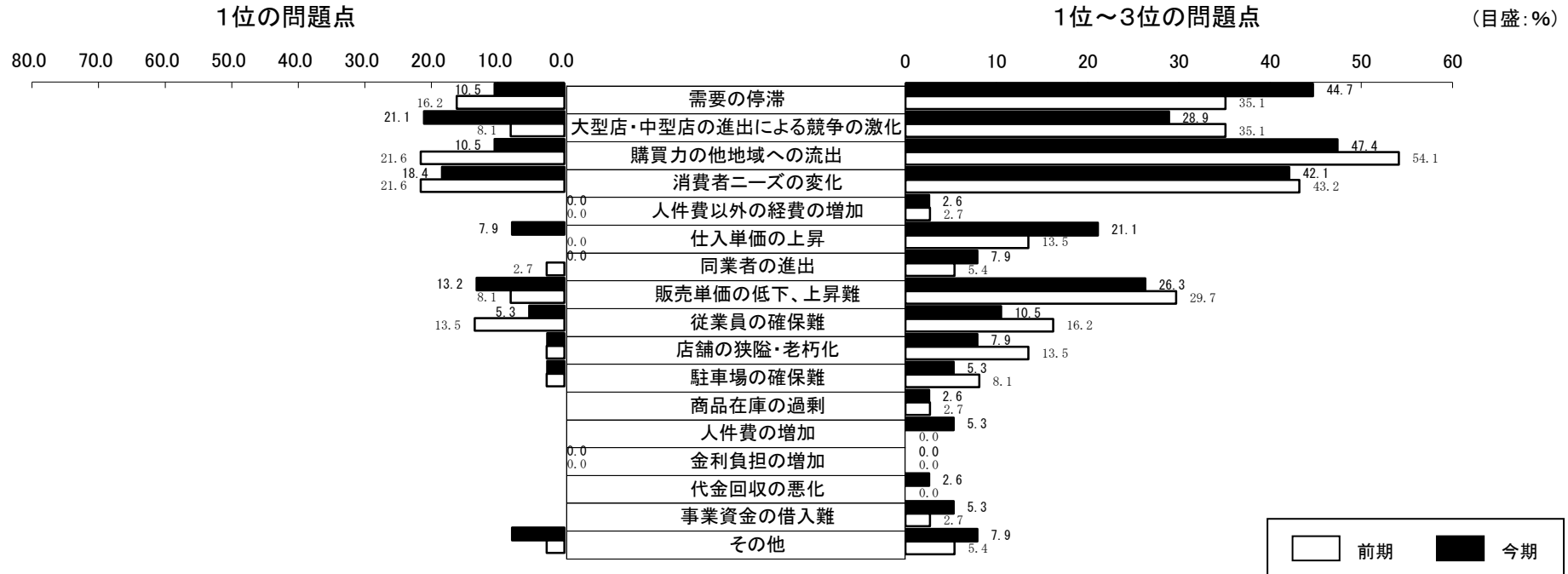


小売業の推移

経営上の問題点

岩手県 小売業

経営上の問題点の状況(1位と1位~3位)



サービス業の推移

売上高

<今 期>

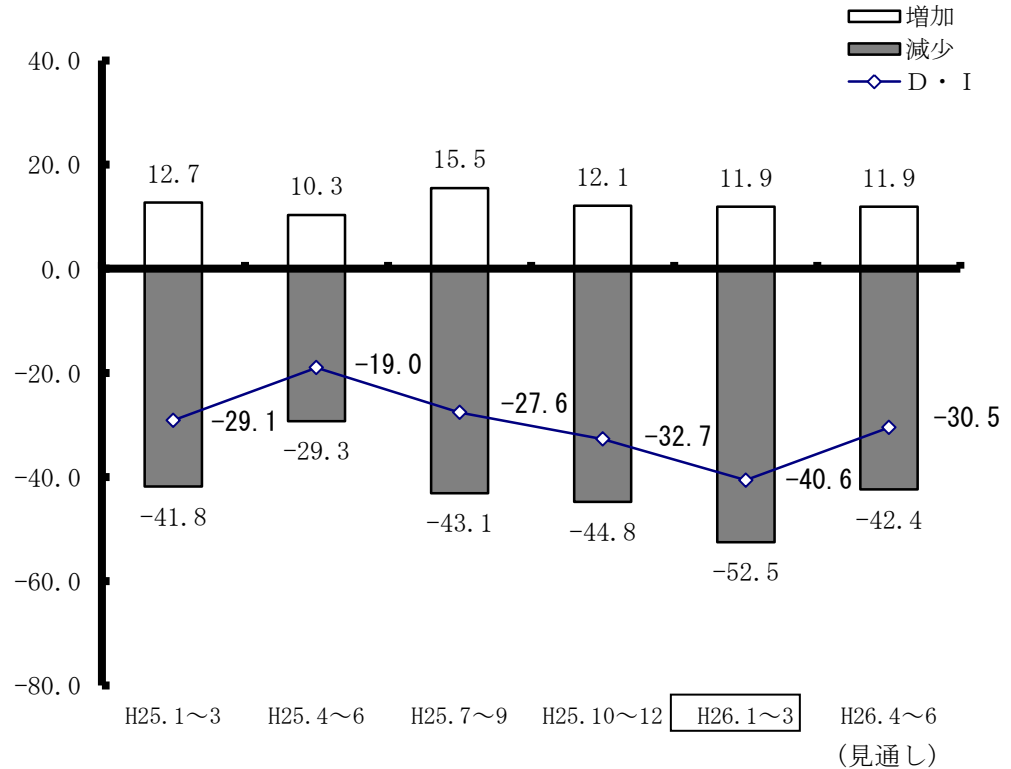


<来期見通し>



今期は、売上高減少企業が増加したため、売上高D・Iは、7.9ポイント悪化し、△40.6まで低下しました。

来期は、売上高減少を予想する企業が減少することから、売上高D・Iの大幅な回復を見込んでおり、減少傾向に歯止めがかかる見通しです。



サービス業の推移

採算

<今 期>

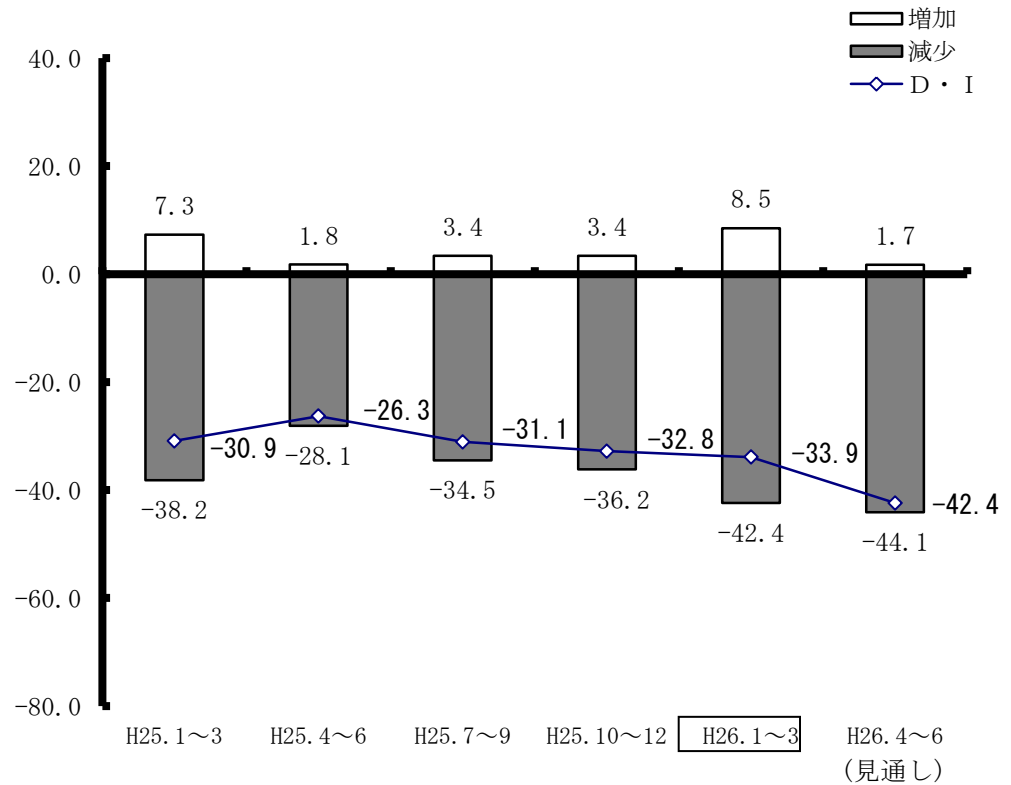


<来期見通し>



今期は、採算増加企業数が増加したものの、採算が悪化した企業も増加したことから、採算D・Iはほぼ横ばいとなりました。

来期は、採算の好転を予想する企業が大きく減少しますので、引き続き、D・I値も悪化すると見込んでいます。



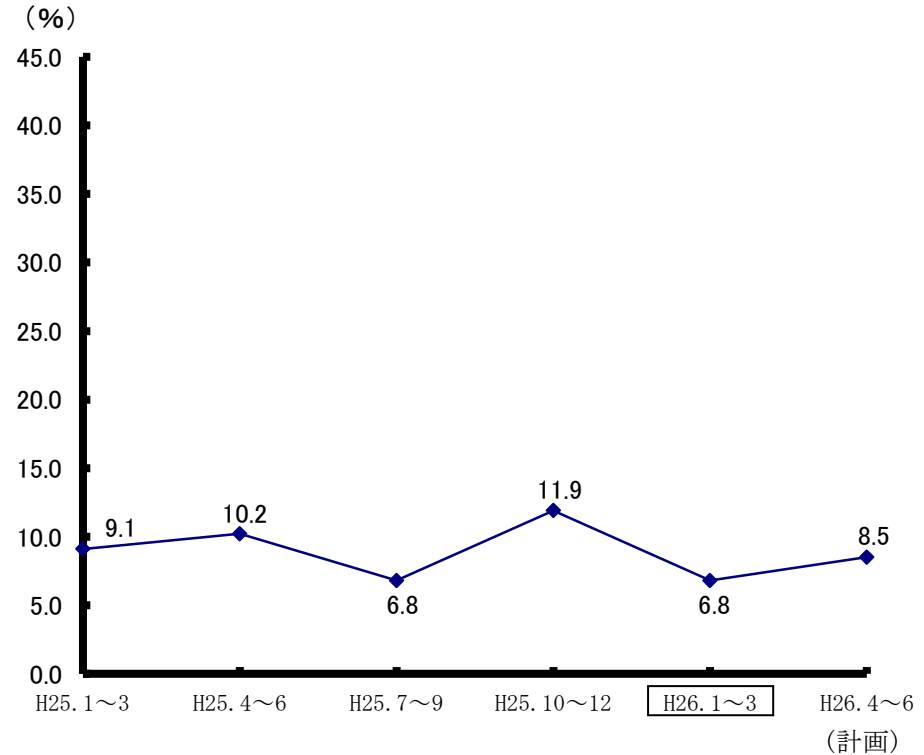
設備投資

今期は、設備投資を実施した企業は5.1ポイント減少の6.8と低水準となりました。

これは、売上の悪化により、設備投資を見合わせているものと思われます。

来期も、8.5と低水準で推移する見通しです。

(注) この指標は、規模の大小にかかわらず、設備投資を実施した企業数の割合を示します。



サービス業の推移

経営上の問題点

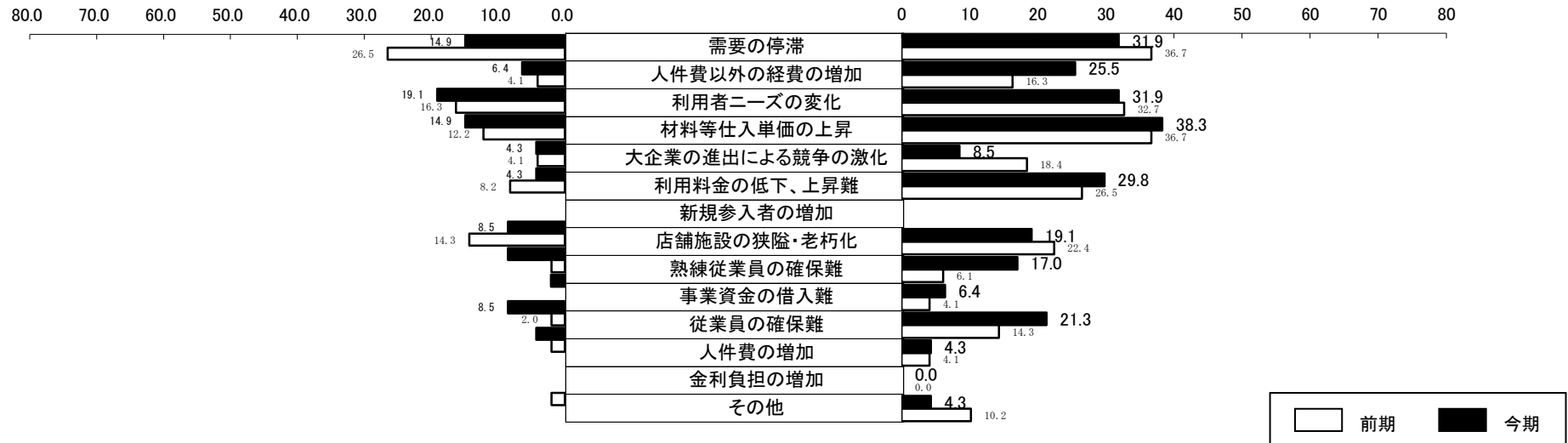
岩手県 サービス業

経営上の問題点の状況(1位と1位~3位)

1位の問題点

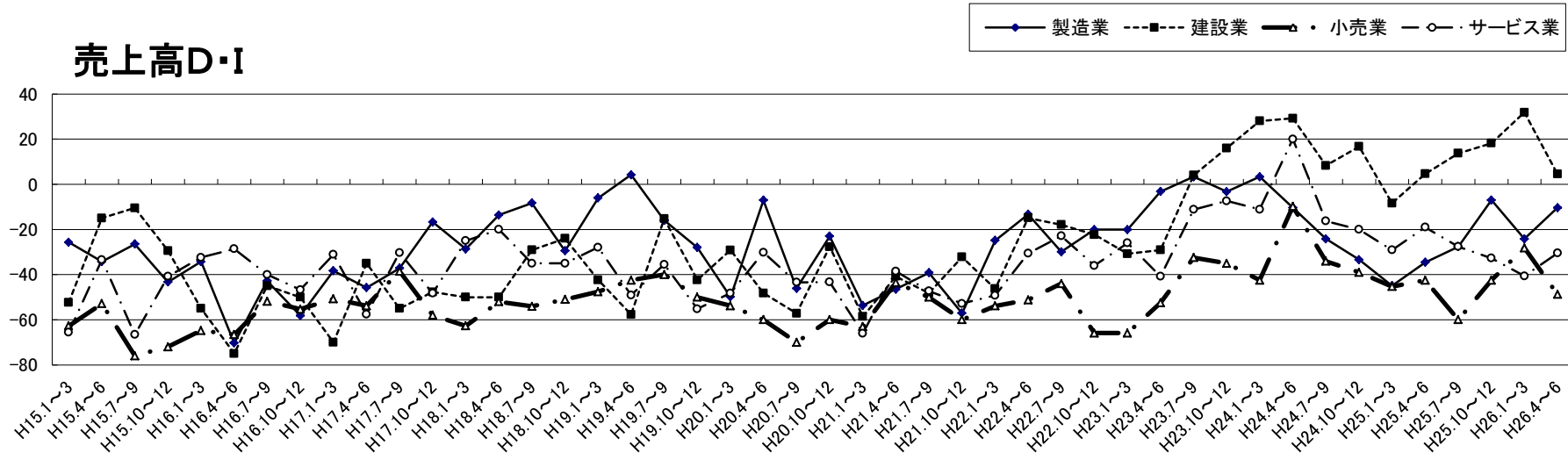
1位~3位の問題点

(目盛:%)

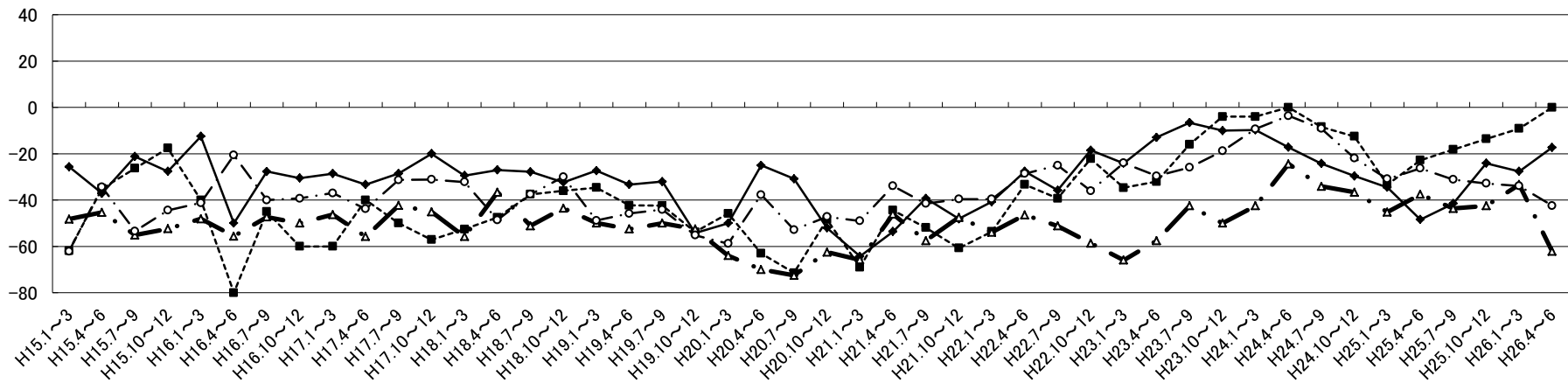


全産業の過去データの推移(平成15年1月以降)

売上高D・I



採算D・I



集 計 資 料

調 査 要 項

1. 調 査 対 象 (1) 対象地区 県内10商工会地区 遠野、陸前高田、二戸市、葛巻町、紫波町
(商工会名) 西和賀、金ヶ崎町、岩泉、普代、洋野町
- (2) 対象企業数 150 企業
- (3) 回答企業数 150 企業
2. 調 査 対 象 期 間 平成26年1月～3月を対象とし、調査時点は平成26年3月1日としました。
3. 調 査 方 法 (1) 商工会の経営指導員が訪問面接し、聞き取りにより行いました。
(2) 調査対象地区の設定は、商工会地区市町村人口規模別の実態を勘案して行い、調査対象事業の抽出は、業種規模等有意選出により行いました。

4. 対象企業等内訳

業種	項目	対 象 企 業 数	回 答 企 業 数	回 答 率 (%)
製造業 (地域産業)		29 (19.3)	29 (19.3)	100.0
建 設 業		22 (14.7)	22 (14.7)	100.0
小 売 業		40 (26.7)	40 (26.7)	100.0
サ ー ビ ス 業		59 (39.3)	59 (39.3)	100.0
		150 (100.0)	150 (100.0)	100.0

(注) カッコ内の数字は、構成比 (%) を表す。

5. そ の 他 本報告書中のD・Iとは、ディフュージョン・インデックス (景気動向指数) の略で、各調査項目についての増加 (上昇、好転、長期化) 企業割合と減少 (低下、悪化、短期化) 企業割合の差を示すものであります。